

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/3)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	金 基 淑
学歴	昭和51年 2月 成均館大学校 韓国 文科大学史学科卒業 昭和59年 3月 筑波大学大学院地域研究研究科(修士課程)地域研究専攻修了 昭和62年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士前期課程)文化人類学専攻修了 平成 4年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士後期課程)文化人類学専攻単位取得				
学位	昭和59年 3月 国際学修士(筑波大学) 昭和62年 3月 文学修士(筑波大学) 平成 4年 3月 文学博士(筑波大学 博甲第938号)				
専門分野	文化人類学、南アジア地域研究				
専門資格					
所属学会	平成 4年 3月 日本文化人類学会 平成 4年10月 日本南アジア学会				
受賞					
担当授業科目	学部 初年次演習、総合社会学基礎演習、フィールド調査法、現代インド研究、総合社会学演習、文化人類学演習・、卒業研究演習・、卒業論文 ----- 大学院 現代文化研究(宗教とエスニシティ)、現代文化研究演習(宗教とエスニシティ)、文化人類学基礎研究法演習・、文化人類学研究法演習・、フィールドワーク				
論文指導	論文指導(卒論:2名、修士論文:0名) 論文審査[副査](修士論文:1名)				
FD活動・教育実績	科目名 文化人類学演習・	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 6名	
	授業の概要:「変化・変容」をキーワードに、受講生各人が関心をもった事象について文献を読んだりフィールドワークを行って発表・討論を重ねる。				
	教育活動の振り返り 1 教育活動の成果: 発表と受講生同士の議論を通じて、文化人類学的な専門知識を身につけるとともに、様々な事象について多角的な視点を持って自分の見解を述べるようになった。3回生ゼミ成果発表会では、各人が1年間取り組んだ学習の成果について発表を行っており、この成果をもとに卒論の作成を行う予定である。 今後の課題: 文献講読力・文章力の向上のための工夫。				
	科目名 フィールド調査法	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 約50名	
授業の概要:フィールドワーク調査の方法を学び実践する授業である。受講生たちは自分が選んだ調査テーマについて数か月をかけて実際調査を行い、調査報告書を作成・提出する。					
教育活動の振り返り 2 教育活動の成果: カテゴリーは講義だが、受講者たちは毎回ワークシートを使ってその日の学習内容と関連した作業を行い(PCルーム使用:5,6回)、最後に提出した。こうしたプロセスを経てアンケート調査質問紙の作成・集計分析、聞き取り調査のやり方・収集した情報の考察などを学び、その結果を文章にまとめることができた。 今後の課題: 聞き取り調査に必要なコミュニケーション能力の向上のための工夫。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/3)

F D 教 育 実 績 ・ 活 動	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績
	・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 文化人類学演習 ・ の受講生とともに、韓国(ソウル・京畿道)で「伝統家屋韓屋村・ウェディングショップ・民俗村」についての現地調査を行った(8月25日-28日)。上記の調査対象を卒論のテーマにする予定である。
H26年度 研究課題	1. 韓国における多文化共生の実情と課題：日本との比較を通じて 2. インド中間層研究：若者の教育と仕事を中心に
研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度)	上記の研究課題1に関しては、韓国で現地調査を行い資料を集めており、また文献研究を行った。 上記の研究課題2に関しては、文献研究を行った。
平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等	(著書)
	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 1. 「異文化理解の手法としてのフィールドワーク 海外実習授業の事例を中心に」、平成26年6月、第19回FDフォーラム第11分科会 異文化理解と多文化交流を深める授業の計画と実践 の報告、公益財団法人大学コンソーシアム京都『第19回FDフォーラム報告集 社会を生き抜く力を育てるために』(pp.483-494)
	(調査活動) 平成26年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)
	(学内活動) 自己点検・大学院委員会委員、教務委員会委員、海外学術研究助成委員会委員
社会における活動 (平成二十四年度)	
平成二十一年(2009)～二十五年(2013)年度の主な研究成果等	(著書)
	1. 「はじめに」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.3-4)
	2. 「第1章 今日のカースト：つづくもの・変わるもの」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.12-23)
	3. 「第2章 カースト・憲法・優遇政策：カーストをめぐる国家の模索と課題」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.26-35)
	4. 「第7章 ポトゥア(西ベンガル州)：それでも絵語りの仕事は続く」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.76-84)
	5. 「第23章 ポトゥア(西ベンガル州)：芸能民カーストの女性と結婚」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.225-234)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/3)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	(著書 つづき) 6. 「第28章 ベンガル・クリスチャン(西ベンガル州):捨てられたカースト」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名:金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.282-291) 7. 「疑似親族とカースト」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名:金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(p.101)
	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 1. 京都文教大学総合社会学部開設記念講演「韓流と日韓交流」(司会・対談を担当)、平成24年9月、京都文教大学弘誓館
	(調査活動) 平成21年 8月- 9月 インド・ベンガル地方のクリスチャン・コミュニティにおける宗教的変容およびインドカーストの変容に関する調査 平成22年 8月- 9月 「インドの中間層研究:宗教的・教育的実践、カースト意識を中心に」に関する調査 平成22年10月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査 平成23年 2月- 3月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査 平成23年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査 平成24年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査 平成25年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)
	(学内活動) 平成20年 4月 人間学部人事委員会委員「平22.3まで」 図書館委員会委員「平22.3まで」 海外渡航調整委員会「平22.3まで」 特別補助金申請準備委員会委員「平22.3まで」 平成22年 4月 国際交流委員会委員「平23.3まで」 共通教育委員会委員「平24.3まで」 平成23年 4月 就職委員会委員「平24.3まで」 研究員調整委員会委員「平24.3まで」 海外渡航調整委員会委員「平25.3まで」 学科予算委員会委員「平25.3まで」 平成24年 4月 教務委員会委員(国際・日本文化コース教務委員兼任)「平25.3まで」 大学運営会議委員「平26.3まで」 自己点検・評価委員会委員「平26.3まで」 自己点検・評価 大学院委員会委員「平25.3まで」 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平25.3まで」 平成25年 4月 国際・日本文化コース主任「平26.3まで」 総合社会学部研究報告編集委員会委員(委員長)「平26.3まで」
	平成二十一～二十五 (2009～2013)年度の 社会における活動